安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	ノックスドール　700 スプレー
会社名	株式会社創新
住所	東京都豊島区上池袋4-11-16ノックスドールビル3階
電話番号	03-3918-3100
Fax.番号	03-3918-3511
推奨用途および使用上の制限	浸透性防錆剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険	可燃性/引火性エアゾール	区分1
健康に対する有害性	急性毒性吸入(ミスト)	区分4
	生殖細胞変異原性	区分2
	生殖毒性	区分2
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分2(肺)
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分3（麻酔作用）
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1（肺、皮膚）
環境に対する有害性	GHS分類に該当する項目はない	

シンボル

注意喚起語　危　険

危険有害性情報

極めて可燃性/引火性の高いエアゾール
高圧容器：熱すると破裂のおそれ
吸入すると有害
遺伝性疾患のおそれの疑い
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
肺の障害のおそれ
眠気またはめまいのおそれ
長期にわたる、または反復ばく露による肺、皮膚の障害

注意書き

安全対策

・子供の手の届かないところに置くこと。
・使用前に取扱説明書を入手すること。
・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
・熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。
・容器を密閉しておくこと。
・使用後も含め、穴をあけたり燃やしたりしないこと。
・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
・取扱い後は手をよく洗うこと
・裸火または他の着火源に噴霧しないこと。
・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
・屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

応急措置

・ばく露またははばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当を受けること。
・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
・気分が悪い時は医師に連絡すること。

保管　・日光から遮断し、50 ℃ 以上の温度にばく露しないこと。
・換気の良いところで保管すること。容器を密閉しておくこと。
・施錠して保管すること。

廃棄　・内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し適切に廃棄すること。

3. 組織・成分情報

単一製品・混合物の区別　混合物

化学名または一般名	濃度（%）	CAS番号	化審法 公示番号	安衛法(閾値) 表示	安衛法(閾値) 通知	PRTR法	毒劇法
溶剤精製重質パラフィン石油留分*1	26.2-31.3%	64741-88-4	対象外	≧1%*2	≧0.1%	非該当	非該当
溶剤脱ワックス重質ナフテン石油留分*1	5.2-7.8%	64742-65-0	対象外	≧1%*2	≧0.1%	非該当	非該当
石油スルホン酸カルシウム	5.2-7.8%	61789-86-4	9-1732	非該当	非該当	非該当	非該当
トール油脂肪酸、トール油、イソフタル酸、ペンタエリスリトール重縮合物	5.2-7.8	68410-37-7	7-674	非該当	非該当	非該当	非該当
固形ワックス	＜5.2%	8002-74-2	8-414	≧1%*2	≧1%	非該当	非該当
2-エチルヘキサン酸ジルコニウム	＜0.05%	22464-99-9	2-615	非該当	非該当	非該当	非該当
脂肪酸（C6-19側鎖）コバルト（Ⅱ）	＜0.05%	68409-81-4	2-615	非該当*3	非該当*3	非該当*3	非該当
メチルエチルケトンオキシム	＜0.05%	96-29-7	2-546	非該当	非該当	非該当	非該当
ブタン	39.7	106-97-8	2-4	≧1%*2	≧1%	非該当	非該当
プロパン	8.1	74-98-6	2-3	非該当	非該当	非該当	非該当

*1鉱油として規制　*2 2016年6月1日改正安衛法施行後対象　*3 閾値はコバルトとして安衛法≧0.1%、PRTR法　≧1%

4. 応急措置

吸入した場合　新鮮な空気の場所に移し、休息させる。

皮膚に付着した場合　直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐ、または取り除く。
皮膚を石鹸と多量の流水またはシャワーで洗う。
皮膚刺激または発疹が生じた場合は医師の診察/手当てを受ける。

眼に入った場合　水で15分間注意深く洗う。その際、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合　水で口の中をよくすすぐ。
気分が悪いときは、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤　粉末消火剤、散水、泡消火剤

使ってはならない消火剤　棒状注水

特有の危険有害性　加圧ガス：加熱された場合は爆発する可能性があります。

特有の消火方法　消火作業は可能な限り風上から行う。
加圧容器は直射日光を避け、50℃を超えてばく露しないこと。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項　作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用する。

保護具および緊急措置

環境に対する注意事項　流出した製品の河川、水路、下水溝などへの流出を防止する。

回収・中和　適切な吸収剤で吸着させ或はスコップ等ですくい取り適切な容器に回収する。

封じ込め及び浄化方法・機材　適応される規制に従って廃棄する。

二次災害の防止策　漏出物でのスリップに注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱い注意事項　『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の適切な保護具を着用する。
取扱い後に手、顔等をよく洗う。

保管

保管条件　着火源から離して置く。禁煙。 50℃を超えない温度で保管する。
容器包装材料　オリジナル容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度　未設定
（作業環境評価基準）

許容濃度

	日本産業衛生学会	ACGIH（TWA）
ｺﾊﾞﾙﾄおよび ｺﾊﾞﾙﾄ化合物	0.05mg./m^3（Coとして）	－
鉱油ミスト	3mg/m^3	－
ブタン	500ppm	STEL　1000ppm

保護具

呼吸器の保護具　換気が不十分な場合は、フィルター付きの呼吸器保護具を着用する。
手の保護具　直接接触や飛沫の恐れがある場合、保護手袋を使用する。ニトリルゴム製の適切な保護手袋を使用する。
眼の保護具　飛散の恐れのある作業ではゴーグルタイプの保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具　適切な長袖保護服を着用する。

衛生対策　休憩前、作業終了時に手を洗う。 眼、皮膚への接触を防ぐ。緊急シャワーと洗眼設備を作業場所に設置し利用できるようにする。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など　エアゾール、明るい茶色
臭い　わずかに臭いあり
融点・凝固点　情報なし
沸点、沸騰範囲　情報なし
引火点　液体成分　>130℃　／　噴射剤　−104℃
蒸気圧　情報なし
比重（密度）　910～950kg/m^3　（20℃）
溶解度
水　不溶
有機溶剤　芳香族炭化水素に溶解
n−オクタノール/水分配係数　情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性　通常取り扱いでは安定。集中的な加熱、裸火着火源などを避ける。
安定性　通常の取扱いでは安定
危険有害反応可能性　圧力容器：使用後でも穴をあける或は焼却をしない。
避けるべき条件　情報なし
混触危険物質　危険有害な反応は知られていない。
危険有害な分解生成物　燃焼で一酸化炭素を形成する。

11. 有害性情報

成分の有害性情報

急性毒性

経口	溶剤精製重質パラフィン石油留分　ラット　LD_{50}　＞2000mg/kg
経皮	溶剤精製重質パラフィン石油留分　ラット　LD_{50}　＞2000mg/kg
潜在的な急性影響	
吸入	高濃度蒸気の吸入は、頭痛、めまい、疲労感、吐き気、嘔吐等の症状を引き起こす可能性があります。 溶剤精製重質パラフィン石油留分 ： 区分4(ミスト)
皮膚接触	脱脂作用がある。 情報なし
眼への接触	刺すような刺激を起すことがある。
飲み込んだ場合	腹部の痛み、嘔吐を起こすことがある。
標的臓器毒性(単回ばく露)	溶剤精製重質パラフィン石油留分 ： 区分2 (肺) プロパン、ブタン ： 区分 3(麻酔作用)
遅延性影響／反復ばく露	
標的臓器毒性(反復ばく露)	溶剤精製重質パラフィン石油留分 ： 区分1 (肺、皮膚)
発がん性、変異原性或は生殖毒性	
発がん性	発がん性および生殖有害性は示されていない。
生殖細胞変異原性	溶剤精製重質パラフィン石油留分 ： 区分2
生殖毒性	溶剤精製重質パラフィン石油留分 ： 区分2

12. 環境影響情報

成分の環境有害性情報

生態毒性	本製品の情報はない
残留性・分解性	易分解性ではない
生体蓄積性	生物蓄積性の潜在性はある。
土壌中の移動性	水に不溶である。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄の際は、関連法規ならびに地方自治体の規準に従う。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装	容器は関連法規ならびに地方自治体の規準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制	海上規制情報 ： IMOの規定に従う。 UN No. ： 1950 Proper Shipping Name ： AEROSOLS、Flammable Class ： 2. 1 Packing Group ： — 海上規制情報 ： ICAO／IATAの規定に従う。 UN No. ： 1950 Proper Shipping Name ： AEROSOLS、Flammable[[Class ： 2. 1 Packing Group ： —
国内規制	陸上輸送情報 ： 消防法に従う。 海上輸送情報 ： 船舶安全法に従う。(IMOに準拠) 航空輸送情報 ： 航空法に従う。(ICAOに準拠)
特別安全対策	転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。 直射日光を避けて輸送する。
緊急時応急措置指針番号	126

15. 適用法令

化審法	特段規制なし
安衛法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物　:鉱油、固形パラフィン、ブタン
化管法(PRTR法)	非該当
消防法	危険物　第4類　第3石油類　非水溶性　危険等級 Ⅲ

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。 このSDSは、新しい知見により予告なく改訂することがあります。

[会社情報]

販売者：(株)スズキ自販宮崎
所在地：宮崎市花ケ島町屋形町1204
TEL:0985-25-7211